

平成30年2月26日
 東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題	鹿島町講武でいちごの栽培検討会が開催されました
------------	-------------------------

(ダイジェスト)

平成30年2月10日、24日の2日に分けて、鹿島町講武のいちご試験栽培ほ場で講武営農中央組合員（2日間で組合員延べ50人）を集めていちご栽培検討会が開催されました。この試験栽培は、講武地区の新しい農業を創り出す一つの手段として、経営多角化や雇用創出、定住につながることを期待されます。

鹿島町講武では、昨年度から雇用創出や定住促進により地域の活性化を目指す有志グループが試験的にいちごトロ箱栽培を行っています。講武地区の農家は水稻が主体ですが、米政策の見直しなど将来の見通しが立ちにくいこと、高齢化や担い手不足といった課題があり、新しい農業経営をしていかなければならないという考えの下、JA 鹿島支店の育苗ハウスを借りたいちごの試験栽培を開始しました。農業技術センターが開発したトロ箱栽培を参考にしたシステムで試験栽培が行われており、普及部は栽培管理の指導を行っています。

今年度は、昨年度の反省点も踏まえながら液肥混入機などの設備も導入した結果順調に生育し、1月から収穫できるようになりました。そこで、講武営農組合員にこの活動を報告し興味を持ってもらうため、栽培検討会が2回に分けて開催されました。第1回目は悪天候のため人数は少なかったものの、第2回目は30名以上が参加しました。いちご栽培に興味を持った方は熱心に質問をしており、いちごを試食した参加者からは「思っていたより甘い」「味が濃い」等の感想がありました。

今後の予定としては、小学校の卒業生を対象にしたいちご狩りイベントを計画しています。来年度はいちご栽培での営農開始、将来的には栽培規模の拡大、地域への波及とそれによる定住促進を目標としています。普及部としてはこの取り組みを次のステップに繋げるため、継続して支援をしていきます。



あいさつ



検討会の様子